

## 会議録【要点筆記】

会議名称	第7回米沢市環境審議会		
開催日時	令和8年3月25日(水) 午前10時00分～午前11時30分		
開催場所	米沢市役所 3階 庁議室		
出席者	会長	吉田 司	国立大学法人山形大学工学部 教授
	副会長	白壁 洋子	森の仲間たち代表/山形県環境アドバイザー
	委員	中川 恵	山形県公立大学法人山形県立米沢女子短期大学准教授
	〃	高野 浩宣	米沢商工会議所 総務企画部マネージャー
	〃	横山 球代	米沢商工会議所女性会 会長
	〃	齊藤 麗子	米沢市衛生組合連合会 副会長
	〃	塩越 憲夫	環境省環境カウンセラー
	〃	福島 正道	環境省環境カウンセラー
	〃	佐藤 亜紀	公募委員
欠席者	委員	佐藤 郁子	生活クラブやまがた生活協同組合 理事長
	〃	我妻 弘一	東南置賜建設業協会 副会長
	〃	深瀬 順子	米沢市消費生活研究会 副会長
	〃	吉原 ゆみ子	公募委員
事務局出席者	遠藤市民環境部長 富取課長、松浦補佐、伊藤環境主査、佐藤主任、佐々木主事(環境担当) 伊藤(会計年度任用職員)		
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 第4期米沢市環境基本計画について ① 審議事項及びパブリック・コメント結果の説明 ② 審議 (2) 米沢市地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)について ① 審議事項及びパブリック・コメント結果の説明 ② 審議 (3) 答申案について (4) 脱炭素先行地域づくり事業について(報告) (5) 審議会の実施状況及び今後の予定について 4 その他 5 閉会		
会議資料	次第 第7回環境審議会資料		

	別紙1__第4期米沢市環境基本計画パブリック・コメント実施結果 別紙2__米沢市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）パブリック・コメント実施結果 別紙3__答申書（案）
会議内容	
<p>【1～2】省略</p> <p>【3 議事】</p> <p>(1) 第4期米沢市環境基本計画について</p> <p>事務局 （資料に基づき、説明）</p> <p>議事進行 委員より、質問や意見があれば伺いたい。</p> <p>会長 長期ビジョンがないというご意見はわかるが、我々の世代が物事をすべて解決できるかという、そうではない。10年や20年先状況がどのようになっているかわからないと思う。そういう意味からすると、着実に進めていくことが重要である。</p> <p>議事進行 他にご意見等がありますか。</p> <p>委員 審議会に入っていて一番気になっている点は、進捗管理の部分である。計画の中での進行管理はPDCAサイクルを回して進めていくとある。これが大事なところである。中身に関して、中長期になるものなので、先ほど会長が言ったとおり、状況は変わると思うので、その都度適切に対応していく必要がある。計画も作って終わりではなく、見直しをかけて計画を変更するなど対応が必要だと思う。年1～2回審議会の開催予定ということで進捗管理をしていくのは非常に重要だと思う。そして、その都度見直しをかけていかなないと絵に描いた餅になってしまう。大変素晴らしい計画なので、また中身も多岐にわたるものなので、年1～2回の開催で大丈夫なのかなと気にかかっているところである。</p> <p>議事進行 他のご意見はありませんか。</p> <p>委員 今回のパブコメはゾーニングに関するが多かったかなという印象があった。ゾーニングは根拠に基づいて客観的に地図に示したのものでもあるが、一方でゾーニングを公表するというのが、それを道具として、何か別な目的で使って、そういうわかりやすさを持っているので、それ自体がすごく政治性というか、メッセージ性を汲んでいるのだと、こういうことを改めて感じている次第です。地図上に起こされずにわからないのかよりは、可視化された方が、議論が進むだろうと思うので、ゾーニングがあるからこそ、様々な意見も、より具体的にどういう懸念があるのかというのも見えるようになっていくと思う。</p> <p>(2) 米沢市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）について</p>	

(3) 答申案について

事務局 (資料に基づき説明)

議事進行 委員より、(2) (3) について質問や意見があれば伺いたい。

委員 パブコメに関して、風力発電について、栗子山、斜平山、吾妻山、兜山、河川敷を保全エリアにしたことの理由を整理して教えてほしい。

イヌワシやクマタカを見たという情報はあったか教えてほしい。

事務局 イヌワシやクマタカを見たという情報はあったかについては、環境省のセンシティブティマップに基づいて保全エリアを設定してほしいという意見はあった。

イヌワシやクマタカをゾーニングマップに反映させるのは、営巣地の特定などになるため、難しい。そのため、文字のみの配慮事項として載せている。ゾーニングが目立ってしまうが、ゾーニングマップは可視化したもの、可視化できなかったものに関しては配慮事項としている。

栗子山、斜平山、吾妻山、兜山、河川敷を保全エリアにしたことの理由は、災害に対しての危険性、栗子山に関しては昨年度の風力発電の反対運動のなかで、保全エリアにしなくていいのかという意見が多かったため、保全エリアにした。斜平山、吾妻山、兜山に関しては、文化的なものや景観、公園等の施設を大切にしたいという意見を尊重した。

委員 風力発電について、イヌワシやクマタカ等の調査を行うべきではないか。また、イヌワシやクマタカを見たという情報をももらった際の対応はどうか。

事務局 国や市のゾーニングマップの基礎情報が変更する可能性はある。そうになると、いつアップデートしていくかという問題がある。手続きを踏まえ、パブコメが終わり、公表という段階となっている時点ではすぐに変更するのは難しい。情報が持ち込まれた際には、環境審議会でも相談しながらアップデートをしていく必要があると思っている。

委員 いるという情報はあったが、実際にはいないということもあり得ると思うので、対応についてはよろしくお願ひしたいと思う。

委員 太陽光発電については推進派だが、最近の北海道で、工事が始まり丘や森の造成が進み、市町村が知らなかった事例があるということや、福島県でも航空写真を見て初めて一面に太陽光パネルがあつて知らなかった人がいるという事例を聞いて、おかしいと思った。造成や森林伐採が知らない間に始まってしまうことは米沢ではないと思うが、確認したい。

事務局 我々は山形県再エネ条例に基づいて、事業者には計画を提出してもらったり説明会を開いてもらったりしているが一定の規模以上の物しか対象となっていない。その規模が条例に引っかけられない場合、市で把握することは難しい。その場合でも、森林の伐採は届出が必要であったり、都市計画上の届出

は必要であったりするので、他の部署で把握する事はある。そのため、森林部門や建築部門と連携して情報把握することは必要になってくると思っている。

会長

パブコメの意見について、結果的にゾーニングマップの見直しが図られ、ほとんど導入可能エリアがなくなっている。これは将来に対して大きな問題を残すことになりうる。パブコメで栗子山の風力発電の中止は大英断という意見があったが、将来に跡を残す非常に大失敗だと個人的に思っている。教育コンポーネントの充実は非常に大事だと思っているのは、地球温暖化に科学的根拠がないといっている人や偏った視点からの意見が散見される。意見の中で、メガワットアワーなどの言葉を断りなく使わない方がいいというのはそのとおりで、話が分かりにくくなっている。我々が日々、どのくらいのエネルギーを必要としているかなどを理解できるような形で情報提供することをしていかなければならないと思う。市民の中では物価の高騰を心配している意見が圧倒的に多く、環境保護を無視しても構わないとは思わないが、再エネに賛成な人はパブコメには何も言わない。サイレントマジョリティの意見を無視することはしてはいけない。そちらの人のほうが圧倒的多数であると思う。再エネに対して否定的な意見の中で、太陽光パネルが中国製だからダメという意見があった。産業構造でなるべくしてなっているだけであって、大量生産で安く手に入るのはありがたい状況だと思う。ゾーニングマップで導入可能エリアが狭まってしまって、既定路線になってしまうと、後で覆すのは難しいと思う。

委員

私は山で育って、地域の行事で山の神様を祀り、山の神様の恩恵を1年間に1回いただくという体験をしてきたものとしては概念的で抽象的なものではあるが、山は畏怖の対象に感じる。エネルギーの供給に対してそういう技術を使わなければならないほど喫緊の話かもしれないが、人間が安易に立ち入っていいのかということを感じる。観光客の話では、上杉神社までの通りもドラッグストアが多く、他の地方都市と変わらないという意見もあった。我々は米沢の風土を守らなければならないのだと思う。米沢は全小学校と中学校に謙信公と鷹山公の肖像画がある。これは全国の中でも稀有なことだと思う。そのような宝となるものを損なわずに前進していければと思う。

委員

今回、河川敷や主要な山を保全エリアに加えて形での修正は反対運動だけでなく、厳密な因果関係はなくても住民との合意形成を大事にしたものであり、慎重よりも脱炭素社会への姿勢が見られたことは米沢市として踏み込んでいると感じた。他の委員も言っていたとおり、慎重になるのは促進可能エリアを狭めることでもあるので、問題があるという意見が出るのもわかる。かつての開発は開発か経済かの対立になりやすかったが、今の脱炭素の開発

は今の生活を続けていくために必要なのだという意見とそうでもないという意見の軸になっていると思う。保護したいという側としては今の生活に内在している課題を外に追いやっているという点はどのように考えているのかという状況なのかなと思う。これは米沢だけでなく、日本全体の問題であると思う。状況も変わってくればゾーニングも変わってくると思う。

議事進行 委員より、(3) について質問や意見があれば伺いたい。

委員 答申案のゾーニングマップについてとあるが、前回のゾーニングマップか今のゾーニングマップかどちらか。

事務局 ゾーニングマップについては、今年度の予算措置がなっていない点や時間がかかる点で、来年度中には策定させる予定だが、現状のものよりも導入可能エリアが少なくなると認識いただければと思う。

#### (4) 脱炭素先行地域づくり事業について

事務局 (事務局より、脱炭素先行地域づくり事業について報告)

議事進行 委員より、(4) について質問や意見があれば伺いたい。

会長 バイオガスについて、行わない予定なのか。

事務局 バイオガスについては、補助金を使わずに行う予定なので、資料への記載はなかった。令和 10 年度から着工できればと思っている。

会長 効果促進について、いろんな世代の意見が聞ければというのはあるが、ごく一部のリピーターが来る形になってしまうのではないか。補助金を配って終わりにしないようにこれからの 5 年のビジョンとその次の 5 年後のビジョンを今のうちから準備したほうが良い。

事務局 市の予算計上となっているのはこれだけだが、4 地区の住民に再エネ電気を使っていただくことも計画の中に入っている。皆様の知恵と御意見を参考にしながら頑張っていきたい。

委員 行動変容について、行動変容が見たい事業をピックアップし、行う前と後と比較したほうが良いと思う。気候市民会議については、人や回数や時間を狙いたい人に合わせるのが大事ではないか。

委員 行動変容として、通勤は車だという概念で、固まってしまっていると思う。それに代わるような手段としてアイデアを市側でピックアップしてもらえると市民も安心できてよいと思う。

#### (5) 審議会の実施状況及び今後の予定について

事務局 (事務局より、審議会の実施状況及び今後の予定について報告)

##### 【4 その他】

事務局 (事務局より、その他について報告)

##### 【5 閉会】

※審議会終了後、市長答申を実施。

